

KOFU21

Chartered 1990  
甲府21ワイズメンズクラブ



〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7  
山梨Y.M.C.A.グローバルコミュニティセンター  
☎055-235-8543 fax055-235-8553  
Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)	「輝かそう、あなたの光を」	甲府21ワイズメンズクラブ 2024年5月会報 今月の強調テーマ Leadership D. Youth Eng.
アジア太平洋地域会長	利根川恵子(川越)	「変革のための光となろう」	
東日本区理事	山田公平(宇都宮)	「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」	
あずさ部部長	森本俊子(長野)	「よい結果をもたらす心の安定と考える力」	
甲府21クラブ会長	小澤公紀	「みんな一緒に、1つの目標(YMCAの支援)に向かって行動しよう」	

**【今月の聖句】** コリントの信徒への手紙 一 3章18～20節 選・古屋秀樹

誰も自分を欺いてはなりません。あなたがたの誰かが、自分はこの世で知恵ある者だと考えているなら、知恵ある者となるために愚かな者になりなさい。この世の知恵は、神の前では愚かなものだからです。「神は、知恵ある者たちをその悪だくみによって捕らえる」と書いてあり、また、「主は知っておられる、知恵ある者の議論が空しいことを」とも書いてあります。

## 5月巻頭言



会長 小澤公紀

今年の春、3～4月は記録的な暖冬の影響か各地で早咲きの桜が咲き誇り、例年より早く人々が活動的な季節を迎えているように見えます。

しかし同時に、地球温暖化要因と考えられる異常気象、活発な地殻変動によると思われる地震等、深刻な被害も世界各地で発生しています。又、社会情勢においても戦争や紛争、地域格差の拡大、政治的な混乱、等多くの課題を抱えています。

いま世界は私たちが目指している、「サステナブルで、平和で、人びとが皆平等な社会」に、少しでも近づいているのか不安が募ります。

しかしこんな時だからこそ私たち個人は、今自分のできることを一つ一つ行動することが大切であり、同じ価値観を共有するYMCAの仲間達と話し合い触れ合うことも大切なことと思います。

今期もあと残す所2ヶ月弱となりますが、大きなイベントが続きます。5月11日(土)の「第3回あずさ部評議会」、6月1日(土)の帯広で開催される「東日本区大会」、そして6月9日(日)恒例の「山梨YMCAチャリティーラン2024」等、多くの意を同じとする仲間達との協働事業です。夫々の世代、夫々の経験、夫々の環境の人たちが、同じ目的をもって汗をかき、行動することで実行されるこれらの事業は、明日を担う若者や、はるかな先の将来を引き継ぐ今の子どもたち、に何かを伝えることが出来ると考えます。こうした事業への1人でも多くのワイズの参加による触れ合いが、必ず将来を担う世代の人たちの「ほんの少しの糧」になり、私たちが目指す「サステナブルで、平和で、人びとが皆平等な社会」に「ほんの1歩」近づくような気がします。

クラブの皆様の積極的な参加をお願い致します。

## 5月第一例会プログラム

2024年5月7日(火) 19:00～

会場：山梨YMCA3階大澤英二記念ホール「ベテル」

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 司会               | 清藤 城宏ワイズ      |
| 1. 開会点鐘          | 小澤公紀会長        |
| 2. ワイズソング・ワイズの信条 |               |
| 3. 今月の聖句・一言      | 古屋秀樹ワイズ       |
| 4. 会長挨拶          | 小澤公紀会長        |
| 5. ハッピーバースデー     |               |
| 6. ワイズディナー       |               |
| 7. 会員卓話          | 末木咲子ワイズ       |
| 演題               | 「多文化共生の地域づくり」 |
| 8. YMCA報告・諸報告    |               |
| 9. YMCAの歌        |               |
| 10. 閉会点鐘         | 小澤公紀会長        |

## 《5月の誕生者》 Happy Birthday!

〈メン〉

佐藤利之(8日)  
依田友紀(22日)  
溝口秀男(23日)

〈メネット〉

奈良田智恵美(31日)

[敬称略]

## 2024年4月例会報告

書記 寺田喜長

- ◆日時 2024年4月3日(火) 19:00～
- ◆会場 山梨YMCA3階ホール「ベテル」

やっとな春らしい暖かさが戻り桜、桃の花が咲き始めた春の宵、奈良田ワイズの司会にて定時に開会、世界各地で起きている紛争を憂いてコリント人への第一の手紙第1章10節を今月の聖句を選ばれた野々垣健五ワイズの一言は、小さな集団の私たちが同じ心、同じ想いになり強く結び合ったいとの思いを示唆されています。

会長挨拶は今月のワイズの協調テーマ [W4W] について説明と、今後の行事への多くの方の参加協力が有り、ゲストの志村直毅様、卓話される井尻真理子さまを紹介されました。ハッピーバースデーのお祝いには荻原桂子ワイズが該当されましたが当方の見落としがありお祝いすることが出来ず大変申し訳ありませんでした。

ワイズディナーに続いて株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ営業部、部長井尻真理子氏の「何事も一生懸命」のテーマにて卓話を頂きました。存続危機時代からクラブ運営に携わり、豊富なアイデア、創意工夫にて各方面から注目される地元に着目した新しい運営方法の構築に携わり弱小クラブを J1 リーグへ引き上げる等の一翼を担われています。「何事にも一生懸命に」と情熱を傾け、クラブ運営だけでなく甲府市男女共同参画推進委員長としても活動をされており、特に災害時における避難所の運営にジェンダーの視点を取り入れる活動を推進されています。それらの活動は 10 代の女性などから女性自らの声で発信し社会に女性が進出していくモデルと認められています。地方の財政が小規模なサッカーチームの J1 リーグへ復帰、女性のさらなる社会活動進出への一生懸命な活動に敬意とさらなる期待を抱かせていただきました。



ブリテン委員長野々垣和宏です。私の会社の近くで撮った写真をお届けします。近くに増上寺があり、インバウンドの方々が多い場所でもあります。

こいのぼりは、端午の節句に飾られた「武者絵のぼり」から始まったとされています。江戸時代、武家では男の子の成長や出世を願うため、絵柄と家紋が描かれた「武者絵のぼり」や「鎧(よろい)」などの武具を庭先に飾っていたそうです。その風習が武家だけではなく庶民に広まり、多くの家が庭先に「のぼり」を飾るようになりました。

この「のぼり」が「こいのぼり」になったのは、町人が「のぼり」の先にある「おぎしろ(小旗のようなもの)」を「こい」の形に変えたことがきっかけです。徐々にその「こい」が大型化し「こいのぼり」へ変化したといわれています。

こいのぼりの色・数の意味

現在販売されている一般的なこいのぼりは、黒・赤・青の3色です。こいのぼりが登場した江戸時代では黒だけでしたが、明治時代に赤、昭和時代に青が追加され、現在の3色になりました。3色のこいが表しているのは、黒がパパ、赤がママ、青がお子さまです。近年では、青の下に緑・ピンク・オレンジ・黄色などのこいが付いているものも登場しています。お子さまが増えるたびに、緑を次男、ピンクを長女にするなど、こいの数を増やして飾るご家庭もあるようです。

## 第5回ベビーカーコンサート開催 2024年4月27日(土)

書記 寺田喜長

4月27日(土)、第5回ベビーカーコンサートは音楽アンサンブル「パルフェ」のみなさんに出演していただき、来場された皆様方と楽しい時間を持つことが出来ました。  
キラキラ教室のお友達も含め、約25家族80名の参加を頂き、「パルフェ」の皆様の軽快な音楽とトークにて大いに盛り上がりました。幼児の飛び入りパフォーマンスが飛び出し、乳幼児や子育て中の親御さんの素敵な笑顔が会場一杯に溢れました。時間が経つのはとっても早くあっという間の終演となりました。ピアノ、フルート、キーボード、トーンチャイム、などの楽器のほかに、湯飲茶碗、お皿等の身近にある音の出る物での演奏もあり時間経過が短く感じました。今回はベビーカーコンサートに相応しくベビーカー利用でのご家族が増え、生後3ヶ月の子供さんとの参加もありました。小さなお子様と、障がいの有る方たちとも、共に楽しむことが出来ました。皆様のご協力本当にありがとうございました。



## 第13回 障がい者フライングディスク大会報告

CS/Yサ担当: 荻野清

2024 年 4 月 20 日 (土) に恒例の「第 13 回障がい者フライングディスク大会 in 北麓」が、富士吉田市パインズパーク芝生広場にて開催されました。この富士五湖クラブ主催のイベントへの協力として、あずさ部はもちろん、富士山部のクラブからも支援に駆けつけておりました。

本大会は、出場障がい者 117 名という多勢、また素晴らしい天候にも恵まれ、ワイズメンズクラブ関係者が 50 名ほどと大盛況でありました。そのような中、当クラブの 8 名は“バンザイ隊”・“招集隊”・“ディスク拾い隊”へと選抜され、休む間もなく若々しく活動していた姿が印象的でした。



### 今後の予定

- 5月
- 7日 (火月) 第1例会 19時
  - 11日 (土) あずさ部第3回評議会 (東京サンライズクラブ)
  - 21日 (火) 第2例会 18時半
  - 31日 (金) 東日本区大会 前夜祭 十勝
- 6月
- 1日 (土)～2日 (日) 東日本区大会 十勝
  - 4日 (火) 第1例会 19時
  - 9日 (日) チャリティーラン
  - 18日 (火) 第2例会 18時半

### 【会計報告】

2024 年 4 月末現在

項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
4月の合計	22,120	0	0	22,120
4月末迄累計	326,196	308,529	52,000	686,725
達成率	130.5%	308.5%	104.0%	171.7%

### 《 4 月例会の出席者》



会員数 42名  
 第一例会出席者 26名  
 その他行事参加者 3名  
 総出席者数 29名  
 出席率 69%

# 「日本での百年」を辿って

カナダ・メソジストの歩み [明治・大正編]  
 グウェン・R. P. ノルマン 著  
 後藤 哲夫 訳  
 One Hundred Years In Japan, Part 1: 1873-1923

後藤 哲夫

## 第4回 出逢い②

### 宣教師を助けた侠客（きょうかく）

この時代、仏教は「耶蘇退治」（キリスト教の絶滅!）と叫び声を上げ、教会やキリスト教の集会に激しい攻撃を加え始めていた。政府は行動し、実際に好意を持っていたわけではなかったが、キリスト教の保護に当たることがしばしばあった。時にはフェアプレーの本当の精神から、宣教師たちの発言に耳を貸すことさえあった。

後になって分かったことだが、このフェアプレーの精神については一つの話がある。長老主義教会の T・C・ウィン牧師は、一人の日本人伝道師を連れて、集会出席のため金沢から高岡へ行くことがあった。あるとき、町を出ようとしていたとき、暴徒らが後ろから近づいてきて、冷やかしたり石を投げたりし始めた。ウィンは伝道師に自分の前を歩かせて、言った。「歩きなさい。走らないで!」。やがて彼らはその暴徒が消えていなくなっていたことに気づいた。

数年経ってからだが、ウィンはそのとき何が起きたかを聞かされた。旅館で休んでいた相撲取りたちが暴徒の騒ぎを聞きつけて、窓からこれを見て、どうしたのかと尋ねた。「あの連中が耶蘇を町から追い出そうとしているのです」と宿屋の主人は応えた。「あそこにいるヤソ教師は何人だ」「二人です」「何、二人だって! それは公平じゃない。おい、行くぞ、おもしろい」。直ちに、三、四人のととも大きな相撲取りの団が宿から飛び出し、暴徒を背後から一人一人片端からつかまえ、城のお堀端から堀の中へ投げ込み始めた。水の中に無理矢理投げ込まれた者の苦痛の叫び声が暴徒の耳に達したときには、彼らは退散した。この出来事をかなり後になってだが、ウィンに語った相撲取りは、二人のキリスト者のそのときの毅然とした姿に大変感動し、その後キリスト教の勉強を始め、ついに洗礼を受けたのだと語った。

今回はワイズメンの Y さんが面白いというので、この箇所を取りあげました。さて相撲取りって誰、ウィン宣教師とはどんな人、と歴史探偵を始めた次第。行き着いた先は、北陸学院、ウィン館。Y・E 館長さんといろいろ話している内に、古い貴重な本を送って頂いた。『日本の使徒 トマス・ウィン伝』（中沢正七編 昭和七年刊 新教出版）というものだ。

その 54 頁に竹槍事件という項目があり、ウィンさんと伝道者が迫害を受けた様子がこまかく描かれている。明治 15 年、ウィンは一人の伝道者とともに高田市（現在は上越市）の赤井屋旅館に泊まり、その地域で 3 日間伝道講演を行った。小石を投げつけられたり、罵詈雑言を浴びせられたり大変なものであった。以下ウィンの手記にはこう書かれている。「・・・私は旅館から往来の道へ出るのは危険とは思いながらも、伝道者とともに出かける用意をした。群衆はなおも竹槍をもって、入り口の障子を破り、内部を覗くのであった。私は心ひそかに神の加護を祈りつ

つ、靴を履くのに多少暇取ったが、思い切って群衆の中へ歩み出した。群衆は私らの行動を見守っていた。しかし、それは一瞬間だった。怒ったよっぱらいどもは、『奴を殺せ殺せ』と叫びながら、私らを追いかけて、小石を雨のように投げかけた。私は群衆に振り向いて、『危ない!』と言ったとき、また静まったが、それも一瞬だった。私らが歩み出すと、猛り狂って後を追いかけてくるようであったが、ある小暗い路地に入り、一生懸命、駆けていく内に、なんだか後ろが静かになったようだった。……」その後数年経って、ウィンが再び、高岡に来てこの話をしたところ、一人の男子が彼の前に現れて次のように語ったという。

「先生、実は私はこの高岡で、多少名を売った侠客で、もと相撲取りをしていたものです。数年前に先生のお説教を聞いて回心し、ただ今は真面目な商人となっています。それについてひと言申し上げますが、ただ今お話しを通り、先生が当市で、多数の暴漢に襲われ時、先生は巧みに小暗い路地に逃げ込んで難をお避けになれましたが、暴漢はなおも先生を追いかけて川の中へでも投げ込もうとの勢いでしたから、私はここ一大事と、その場へ飛び出し、田圃のところで暴漢を食い止め、先生をおのがし申したことがあります。本当にあの時分は乱暴な者でした。」彼がウィンに再会したのは、証拠はないが、メソジスト高田教会かも知れない。所で、相撲取りはウィンの毅然とした姿に大変感動したと本書にある。ウィンの人柄について伝記では、「ウィン先生は徳が高く、人望家そのもののように感ぜられました。」「温厚であって威厳があり、親しむべくしておかすべからざる人であった」「常に祈る人であった」と教え子たちは語っている。彼は金沢教会をはじめ多くの教会を創設し、現在の北陸学院の礎となった。ウィンの伯父は、日本への最初のプロテスタント宣教師ブラウンで、祖母は讃美歌作者としても知られている。この両者が深い影響を彼に与えたことは確かである。相撲取りは彼の感性で、ウィンの人柄を見抜いたのではないだろうか。



どうしたことでしょう。これを読みながらいしだあゆみの曲が頭を巡っていました。

「あなたなへらどうする?」

今回の第4話はどのように受けとめられましたか? もちろん多くの方はウィン先生の温厚で、威厳があり、そして毅然とした姿に感動を追体験されたことと思います。私は、そんな人に出会った時に、「行動」出来るのか、と。「暗いと不平を言うよりも、すすんであかりをつけましょう」  
 ブリテン委員長 野々垣 和宏

## WEEK 4 WASTE

2024.04.27



◆日時 2024 年 4 月 27 日 (土) 15:00 ~

◆会場 山梨 YMCA 近隣清掃

国際協会の W4W 活動に賛同し、私たちの YMCA 周辺・近隣清掃に汗を掻きました。

◆なぜ W4W なのか

In 2016, the world produced over 2 billion tonnes of solid waste, and this is only increasing as the human population continues to climb. If nothing is done, our society's garbage production is expected to reach 3.4 billion tonnes annually by 2050.

To help address this alarming issue, in 2020/21 Y's Men International introduces its Week4Waste campaign which will be coordinated through the corresponding Task Force chaired by PAP Area Europe, Ulrik Lauridsen. To actively participate in the campaign, clubs should conduct at least one "clean-up" activity in their community during the year – for example, meeting to pick up trash left at a local park or beach. Multiple programmes and actions are encouraged, as well as cooperation with other NGOs or like-minded organisations. Consider coordinating and publicising your events through the Great Global Clean Up Programme. Our goal is to have maximum impact and maximum visibility! Activities should culminate in the week of 18 – 25 April 2021, which has been specifically selected because of the several international environmental protection actions and observations during that period, including Earth Day on 22 April.

## ◆YMCA 便り◆

「わたしは、世の光です。  
私に従う者は、  
決して闇の中を歩むことがなく、  
いのちの光を持つのです」

総主事 中田 純子

今年のペンテコステ\*は 5 月 19 日 (日) です。私は 2021 年のペンテコステに受洗しました。洗礼の際、「これからのあなたにあなたの聖句を伝えます」と牧師からヨハネによる福音書 8 章 12 節「わたしは、世の光です。私に従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです」があたえられました。

当時の私は、YMCA に集う子どもたち、家族、その環境へのアプローチに対して、困り感という闇の中から、自分が光となり、彼らの足元を照らし光へと導くことであると信じて、日々の業務を行っていました。子どもたちの等身大を知り、困り感から必要なケア、言葉のかけ方、成長・発達を細分化して細かく丁寧に関わり彼らの 3 年・5 年・10 年の先を見通しながらケアすることに懸命でした。更に、彼らを取り巻く環境に働きかけ、関係各所との連携に時間をかけ、自分を忘れて一生懸命働いていたのを思い出します。

総主事として歩んでいる今を見ますと、今まで以上に業務が多く、1 日を過ごしている事に気づかされます。しかし、これに対して、今日が来ること、変わらぬ日々があることに喜びを感じる私がいることにも気づかされます。

日々の業務で、お会いする人にお声がけ頂け、本当に多くの方々に支えられていることを実感します。多くの人とつながり皆さんからの言葉により私自身が高められ必ず訪れる日々に対し不安がなくなるのです。多くの人と時間を共に生きることで、生かされている自分を感じます。神様とつながり守られていること聖霊に満たされた神の御言葉にふれることができていることで 5 月の受洗で与えられた聖句が心に響き渡り、これからも歩みを進めてまいります。

\*イエス様が私たちの罪を購うために十字架に架けられ、死にて葬られて 3 日目に復活されたイースター (復活祭) から 50 日目に、キリストの弟子たちの上に天から聖霊がくだり、教会が誕生した日をペンテコステ (聖霊降臨日) と言います。この出来事に関する聖書の記事は新約聖書の『使徒言行録』2 章 1 節 - 42 節にみられます。